

## ムラが目立たないプライマー 塗装説明書

- 商品名 ムラが目立たないプライマー  
水性エマルジョンペイント
- 素材 プラスターボード、ビニールクロス、壁紙、各種ボード、コンクリート  
モルタル、石綿スレート、木部 など
- 荷姿 1kg / 6kg / 18kg

工程	塗料名	塗装方法	塗り回数	塗装間隔 (時間以上)	塗面積と塗付量 (kg/m <sup>2</sup> )	希釈率 (%)
素地調整	被塗面に付着している汚れ・油成分・ゴミ・粉などの付着物を除去し乾燥した清浄な面にする。 穴埋めが必要な場合にはパテ・フィラーなどを用いて行う。					
下塗り	ムラが目立たないプライマー	ローラー	1~2	3時間以上	約 5 m <sup>2</sup> /1kg 当り (0.23)	0~10%
上塗り	Hip 珪藻土・Hip 漆喰・その他カラーワークス製品	各製品の仕様に従う。				

(注) 被塗膜の形状、素地の状態、施工方法、施工条件によりそれぞれ多少幅を生じることがあります。

※規定量以上の水希釈はしないでください。(ひび割れ・密着不良などの不具合につながる恐れがあるため)

※上記塗装間隔は、塗り厚 0.2 mm、室温 20℃、湿度 55%の空気が循環している状態での時間です。現場状況により変わることがありますのでご注意ください。

## 【塗装要領】

### 塗料準備

使用前に十分攪拌してください。

### 下地準備

カビが発生している場合は市販のカビ取り剤を使用し除去してください。

ボードのジョイント部分はひび割れ防止のため、パテ処理し、サンドペーパーで研磨して平滑にしてください。

塗装面のゴミ・カビ・油汚れ・たばこのヤニなどはきれいに落とししてください。

鉄部に塗る場合は、よくサビを落とし、必ず下塗りにサビ止めペイントを塗ってください。

剥がれかけのペイントや付着物はサンドペーパーや皮スキ・ワイヤーブラシなどを使い取り除きます。

ツヤのある表面は必要に応じてサンドペーパーで表面をザラザラにしておいてください。

施工面は塗装する前に完全に乾燥させてください。

### 養生

マスキングテープやマスキング紙を使い、塗りにたくない部分を覆います。マスキングテープは塗装が終了しない場合でもその日のうちに一旦剥がしてください。翌日になると塗料が固まってしまいマスキングテープを綺麗に剥がすことが難しくなります。

### 塗装

下地処理が完全に乾燥しているか、確認します。ムラが目立たないプライマーを開け、よく攪拌し、ローラーバケットに移します。ウールローラーもしくは刷毛に本品を付け、施工面に満遍なく塗ってください。不陸や乾燥後の肌が気になる場合は、サンドペーパーで研磨してください。

■ 塗装上の注意

1. 素地の乾燥を十分行ってください。(含水率 10%以下、pH 値 9 以下)
2. 取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護メガネなどを着用してください。
3. 気温、被塗物の温度が 5℃以下、32℃以上、湿度 85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
4. ローラーで見切りぎりぎりまで塗ってください。ダメ込面はできるだけ少なくしてください。
5. 高温 (35℃以上) および低温 (5℃以下) での塗料の保管は避けてください。
6. 塗装後 24 時間以内に、結露や塗装場所の急激な湿度変化がありますと、白化やシミが残ったり、塗膜が正常に形成されない場合があります。
7. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
8. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。
9. 塗装時及び塗料の取扱い時は、換気を十分に行ってください。
10. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合、大型壁面塗装では補修部分が目立つことがありますので、同一塗料、同一塗装方法での補修をしてください。
11. 「ムラが目立たないプライマー」はパテ跡を隠蔽する効果がありますが、完全に隠蔽することはできません。
12. 密着の悪い素材にはシーラー処理をしてください。
13. 乾燥時間は、約 4 時間ほどです。(室温 20℃、湿度 50% 時)
14. 一回塗り後、パテ処理跡が気になる場合は完全乾燥後もう一度ムラが目立たないプライマーを塗ってください。
15. 密着不良や不具合の原因となるため、下地処理時、二回塗りの際には、必ず付着した粉を除去してから施工してください。
16. 下地が動いた場合は、クラックが発生する場合があります。
17. 重ね塗りをする際は、下地が完全に乾燥していることを確認してから施工してください。